

日曜新聞日曜日休刊
部、一月、二十五
一月、二十五
部、一月、二十五
部、一月、二十五
部、一月、二十五
部、一月、二十五
部、一月、二十五

恵まれない人々に 暮れの同情を募集

平市社会事業助成会で

平市社会事業助成会では全方面調査期間に當り例年の通り市内各戸に同情袋を配り今二十日から二十六日まで方面委員をはじめ各區長、青年團員、愛國婦人會員等二班に分れて同情金を集め、後日の賑りを図めるため恵まれない人々に贈ることになつてゐる。

母校の建築に 青年校の奉仕

錦校明日上課式

石城郡錦町の青年校生五十三名は目下増築工事中の同村小學校(工費約四萬圓、總建築三百六十七坪、八教室、衛生室その他)上棟式が去る二十日の見込みであつたものを人夫不足から延期されてゐるのを見て去る十五日以来毎日十餘名づつ交代で用材の運搬から組立て作業に出役し、廿三日二十三日上棟式を挙げるの運びを見るに至つたが、労働全部を小學校映諸購入費に寄附するにとした。

年末金融の爲 廢休と延伸

平郵便局にて

平郵便局では年末金融の公衆利便に爲替貯金、保険年金等の窓口現金受取事務取扱ひ時間を左記の如く廢休並びに延伸することになつた。

支那單語

たくらむは圖謀トウ
モウ、承諾することは
肯と稱する場合はター
答應と云ふ場合はター
イン、かくすことを藏
と稱してツアン、取扱
ふは辨でバン、驚くこ
とは受驚でシオウチン
と云ふ。

山田村の村議改選二十五日

石城郡山田村は来る二十五日村議の改選が行はれるが、定員十二名に對し、時局無競争を望まれてゐるが、超過の候補を見ようである。

街の探偵表彰

平署では去る廿日警察館に催した防犯講演會に於て伊藤平市助、佐久間縣刑事課長等

戦地の便り

殘敵を撃滅して 安養浄土となる迄

井上 吉男
越軍曹殿が歸還の途に着きました。旅立の途に過ぎた。心算でしたが、初年兵教育が終つたと思ふや、この度の戦いの出動中に思ひながら、御無音に打過ぎ申謝あります。この度の戦いは平地戦で、それによつて古参兵を送つて新兵を卒えの戦闘故なかに苦勞致しました。危険な場所にも遭つたし、前線の危地から脱した時の御神佛をかけたの御祈願による賜と感謝致し居ります。近頃日中また一部の歸還兵を送る準備を致し居ります。若し兵士の私達は居残りです。

餅の搗き賃は一升十三錢

平署では管内の新餅搗業者を二十一日同署に招集し、搗賃の協定を協議し、一升の搗賃十三錢、目方渡し一升五百匁に決めた。

警防團の検閲

小名濱町の警防團では来る二十六日同町小學校校庭に於て秋季検閲を行う。

便所に三百圓

去る八日午後九時過ぎ湯本驛便所の土間に十圓紙幣を取混せて、金三百圓が裸で落された。

勿來の町葬

石城郡勿來町の大高出身大津勝雄(長瀧川)國境で戰死の町葬は来る二十七日勿來小學校で執行する。

小名濱の町葬

小名濱町出身の陸軍歩兵上等兵小野實吉、狩野秀隆、兩勇士の町葬は来る二十七日小學校講堂で執行する。

紅裙の赤誠

石城郡四倉町の藝妓置屋柏家方の藝妓秀子と秋山と云ふ二人は國防献金五十圓を四倉町に寄託する赤誠に習員を感激させた。

思ひまゝに出る

大森 勇
ある戦病兵が收容された。相當に重症であつた。幾日も將を測らぬので、將の中に顔があつた。食慾がなく、幾日も食事を攝らなかつたので、いたましい程瘦せてゐた。壁も力なく細かつた。注射したりその他色々の手當をした。白衣の勇士は何か私に云ふのだが、聲が小さくよく聞き取れぬ。よく聞いて見ると斯うである。

定期年金周知映畫 『第一の出發』

近期中世界館にて上映

陣中から寄附

石城郡勿來町の酒井出身坂本部隊駐屯中、一君は陣中から金五圓を小學校へ寄附す。

レコード鑑賞會

石城郡植町小學校講堂に於て、レコード鑑賞會が催された。

陣中から寄附

石城郡勿來町の酒井出身坂本部隊駐屯中、一君は陣中から金五圓を小學校へ寄附す。

レコード鑑賞會

石城郡植町小學校講堂に於て、レコード鑑賞會が催された。

陣中から寄附

石城郡勿來町の酒井出身坂本部隊駐屯中、一君は陣中から金五圓を小學校へ寄附す。

レコード鑑賞會

石城郡植町小學校講堂に於て、レコード鑑賞會が催された。

陣中から寄附

石城郡勿來町の酒井出身坂本部隊駐屯中、一君は陣中から金五圓を小學校へ寄附す。

半島人の赤誠

小名濱町竹町居住半島生れの余未用さんは、編み得たる貨銀に五圓を加へて、金十四圓を同町國後援會へ寄附す。

銃後會へ十圓

平市在住の仙合藩郷友會では、總會費を節約して、金十圓を市の銃後奉公會へ寄附した。

小名濱校競書會

小名濱小學校の書方研究會では、今二十一日各學年の競書會を催した。

ウエル萬年筆

新異ダイヤペン付 一五〇以上 商工主催「代用品工業振興展覽會」出品申込の各種代用品 一萬數千點中、萬年筆としてはウエルが、一、點最良なる筆に合格したる新興國策製品

文魁堂

電話三一三

普高屋洋服店

電話三六六

尼子亭

利府温泉

御誂の既製品

電話二二六六

庶業方面

犁耕界の花 女性で教師

きみ子さんは現在郡農會の嘱託教師として女子犁耕養成に盡力し現在では六百名餘の徒後女性がきみ子さんの指導下に専念、従来男の仕事とされてゐた犁耕界に目ざましい進出ぶりを見せてゐる。

きみ子さんは農村の女性、殊に徒後の女性としての覚悟を次の如く語つてゐる、

戦時下農村の中堅層が戦場へ送られ勞力の不足を叫ばれてゐる時やもすると農家に生れてゐながら土を嫌つて都にあこがれ離村する女性が多いと云ふことは徒後生産擴充の點から見ても甚だ遺憾なことと思ひます農家に生れた私は、土によつて生きていることが一番幸福であり反面戦時下の農村にあつては人馬の徴發等による勞力の不足をわれわれ女性達によつて補ふことが急務ではないかと思へます、

事務が長期戦になればなるほど私達女性の職場も擴張されることになるのであるから一片の夢にあこがれて土を離れることなく、農村女性としての職務を全うし完全な徒後の躍りに備へねばならぬと思ひます、

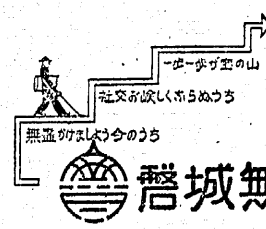
と、要半の飼養管理にも入念なもので男子を學ばしめるほどの優れた腕をもち氣の毒な病弱の父に代つて耕耘を奮負ふと云ふ自分の發心よりも其の父に勵まされ事變に鞭撻された覚悟が私を強くなましめ

肉の御用命は

三二三屋

牛も豚も優良品の自慢

貯蓄は無盡で



無盡の貯蓄 啓城無盡

ましたと(完り)

大小の御宴會にホール
御家族の御同伴に御座敷
いつも材料を吟味して居ります

マルトモ食堂

平市四丁目(電話一三三番)

應入
需院

内科、小兒科
大森醫院
醫學士 大森 勇
平市南町 電二五八番

秋より冬にかけて
婦人洋品
シヨールと防寒具

可愛い子供さんのお帽子とお洋服

豊富陳列して御座います

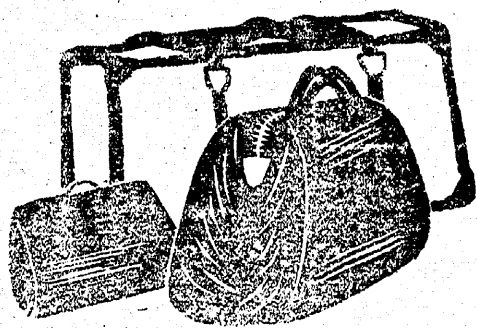
ツルヤ
平電140

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

平市田町 電話五一三番
高久病院
院長 醫學士 高久忠

御婚禮着付
和洋結髪
パーマネント・ウエーブ
何卒御用命の程を
手塚美容院
平市新田町
(徒弟入用)

カバと洋品類



眞砂屋 (前平市驛、新道通)
電話五六

診療科目

- 一、齒科一般
保存科、補綴科、綴架工科、
齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、
- 一、口腔外科
- 一、レントゲン科

中野齒科醫院

平市田町(松月堂向ヒ)
院長 日本齒科醫學士 中野憲次
日本醫學士 藤谷伍郎
主任 佐藤重義

債券、公債
両替、金融
多田井質店
平市大町 電話五九一番

平田町(三丁目裏川岸通)
明雲堂眼科醫院
電話六六九番
入院應需(自炊の便あり)

和洋銅鐵、金物問屋

釜屋商店

九九・九電

諸君下しの大妙藥
安流丸
平町五丁目三番
持約山野邊藥局

便利で
經濟な
日下家政婦會の
派出婦を御利用下さい

身元確かで品行方正ですから
何を任せしても安心です
平市白銀町十番地 (電話七三三番)
日下家政婦會
會長 日下すい子

會員同志の御加入(派出なき閑暇に裁縫や)
を御誘ひ致します(編物をお教授致します)